



ハート基金&いちサポ補助金

2026/3月  
No.015

市民活動に活用  
「いちサポ補助金」

# いちかわ市民活動サポート制度

— 掲載項目 —

いちサポ補助金交付団体 活動紹介 / いちかわ市民活動サポート制度について

活動  
特集



## 鬼まち一家

～「親戚よりも身近な近所の人」を目指して～



▲鬼まちマルシェ「鬼越節分2026」の様子

お寺で行われた豆まきには、多くの来場者が訪れ、境内はたくさんの人で埋め尽くされました。「福は内、鬼も内」の掛け声とともに豆がまかれると、会場は笑顔と歓声に包まれ、にぎやかなひとときとなりました。

### 市民活動全体に対する総合的な支援に向けて

市川市は、市民活動団体が行う事業をサポートするとともに「①活動する市民を増やす」「②市民活動のファンを増やす」といった市民活動全体に対し、総合的にサポートするため「いちかわ市民活動サポート制度（通称：いちサポ）」を平成28年度に立ち上げました。

# 【特集】いちサポ補助金交付団体 活動紹介



代表 有田 友香 氏(右)

代表の「鬼越で人のつながりをつくりたい」という思いと、神明寺の住職の「お寺をもっと地域に開かれた場所にしたい」という思いが重なり、有志が集まって活動を開始。現在は神明寺を拠点に、地域のつながりづくりに取り組んでいます。

## お寺を拠点に広がる、地域のつながり 「鬼まちマルシェ」

「神明寺」を拠点に、地域交流と地域経済の活性化を目的としたマルシェやイベントを開催しています。小さなマルシェから始まり、今では節分や花まつり、夏祭り、ハロウィンなど季節の催しも実施。子ども食堂や親子向けワークショップなどを通して、世代を超えた地域のつながりづくりに取り組んでいます。

▼ 鬼まちマルシェの開催情報は団体SNSで発信中

鬼まち  
公式SNS



▲Instagram



▲LINE

## インタビュー

### —これまでの活動について教えてください

2023年夏に神明寺でマルシェを開催したことから始まりました。初回は周知も十分ではなく、出店者も少ない中で手探りのスタートでした。

その後、回数を重ねながら他の地域のイベントに参加し視察したり、地域の店舗に地道に声をかけたりして活動を広げてきました。続けていく中で徐々に認知が広がり、当初は参加いただけなかった店舗も出店していただけるようになりました。現在ではマルシェへの出店希望も多くいただくようになり、手探りで始まった小さなマルシェは、地域の協力の輪が広がる中で、現在では約600人が訪れるイベントへと成長しました。

### —印象に残っている活動は？

これまでの活動の中でも印象に残っているのが、ハロウィンイベント「鬼越百鬼夜行」です。仮装した子どもたちがウォークラリー形式で鬼越周辺を巡り、お寺やお店、駅などを訪れながら楽しみました。京成鬼越駅にも協力していただき、駅構内に入って写真撮影ができる特別な機会も実現。思い思いの仮装をした子どもたちが笑顔でまちを歩く姿はとてにぎやかで、地域の人の協力のよって、地域全体を巻き込んだイベントとなりました。

### —補助金をどのように活かしていこうと思いますか？

補助金を活用し、子どもを対象とした小規模マルシェを開催できるようになりました。これまでも子ども向けのワークショップを企画したい思いはありましたが、予算の関係で実現できないこともありました。

今後は季節や地域に合わせた遊びや体験を取り入れ、子どもたちの居場所となるような場づくりにつなげていきたいと考えています。来年度は小学校へのチラシ配布も検討し、子どもたちが自発的に「行ってみたい」と思える企画を目指します。

### —団体として大切にしている理念や考え方を教えてください

「地域を盛り上げ、コミュニティをつくりたい」という思いを大切に活動しています。子どもから大人まで、世代を超えて人がつながるきっかけを生み出したいと考えています。まずは鬼越から、そしてその輪を市川市全体へと広げていき、親戚よりも身近な近所のひとになれるような地域の中で自然と交流が生まれるまちづくりにつなげていきたいです。

活動のアレコレ！  
お聞きました！

# 補助金の流れ

対象:NPO法人や任意団体



## <活動の計画>

年間の活動を会員みんなで検討し、計画を立てます。  
また、補助金の活用についても検討します。

## <補助金の申請>

補助金を受ける目的、活動することで地域にどれだけの利益をもたらすことができるかを申請書でPRします。



## <補助金の活用>

実際の事業・活動に必要な経費に対し、補助金を充当することや、これまでから拡充した経費に充当することで、充実や発展を目指します。

### 団体での活用例

消耗品	イベント装飾他
印刷製本	チラシ印刷
使用料及び賃借料	会場使用料
その他	Instagram広告費

## <実際の活動>

活動計画や補助金申請の際に記載した事項に則り、実際の活動を行います。



## <活動実績の報告>

活動の報告、補助金を活用した費目に係る収支決算書を作成し、実績の報告を行います。



## <補助金の受取>

実績報告後、確定した補助金額を市から受け取ります。  
※概算払で事前に受け取っていた場合、差額の返金が必要となることもあります。

■ 詳しい内容については「補助金ガイドブック」をご覧ください  
NPO・市民活動支援課の窓口でお渡し、または市公式Webサイトからもご覧いただけます。

# いちかわ市民活動サポート制度とは？

NPO法人はもちろん、  
任意団体まで幅広く応援します

## 【市民活動を支える2本柱】

1. 市川市市民活動総合支援基金（愛称：市川ハート基金）  
→ 市民からの寄附で市民活動団体を支えるしくみ
2. 市川市市民活動団体事業補助金（通称：いちサポ補助金）  
→ 社会貢献に係る事業費への補助をするしくみ

### 1. いちかわハート基金 の流れ

市民等から  
の  
ふるさと納税

企業等から  
の  
指定寄附

いちかわハート基金

#### 使い道の一例

##### ① 団体への備品貸出

市民活動団体がイベントで使用する備品を市が購入し、貸出ます。

簡易テント、スピーカー、マイク、  
プロジェクター、PC など

##### ② 活動センターの充実化

作業スペースの充実化として、PCの設置や裁断機、紙折り機等の設置しています。

印刷機も設置し、費用を抑えて印刷することができます。

##### ③ 活動支援講座の開催

財政面、チラシの作成など、講師を招き、団体向けに講座を開催しています。

### 2. いちサポ補助金 の流れ

市民活動団体からの申請

審査会等での審査

市民活動団体が実施する  
社会貢献活動の事業費用  
の一部を補助します

#### 事業の考え方

- ・自主的自発的に行われるもの
- ・市内において実施するもの
- ・営利を目的としないもの
- ・市民を主たる対象とするもの
- ・地域の課題、問題が解決されるもの

\*対象経費の1/2

\*上限30万（3回まで）

\*4回目以降は別途審査

発行：市川市 市民部 NPO・市民活動支援課

電話：047-712-8704

E-mail：npo-shien@city.ichikawa.lg.jp



ハート基金について



いちサポ補助金について